R8年度　笹尾西小学校研修方針

学校教育目標　**「自ら考え　行動する子」**

～東員町16年一貫教育プランを推進し確かな～学力と豊かな人間性をもとに社会に参画していく力をつける学校～

「　かしこく　あたたかく　たくましく」

よくきき、よく考え
自ら学び取る感性豊かな子

東員学び検定・東員英語検定
読解力向上（αドリルの活用）
少人数指導（算数）ICT 教育の推進
学び授業研究会の実施
家庭学習強化週間など

知

生命と人権を大切にし、
あたたかい心で支え合う子

読書登山・キャリアファイル QU 調査の活用
なかよしタイム（毎週金曜日）
朝読書・読み聞かせ
図書館支援員の活用
校内人権月間など

徳

粘り強い
心と体でやり抜く子

なわとび検定　マラソン記録会
弁当の日（6年）
いきいき生活リズム週間
給食・食育指導など

体

研修主題　子どもたちのやる気を高める国語の授業づくり

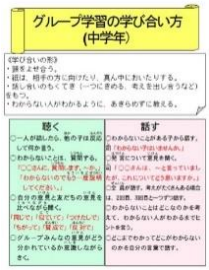
～読みたい、書きたい児童が増える教材研究～

「伝え合う力」
しっかり聴いてしっかり話す

◇学習規律の徹底
「笹尾西小学校の学習の約束」

◇聴き合う環境づくり
子どもたちが対話しやすい机配置
自然な反応

◇ペアグループの活用
低学年：ペア　中学年以上：グループ
「分からない子から話す」「困っている子から話す」ことを約束し、目的意識をもったペアグループ学習



関わり合う力・学び合う力
安心・いきいき

◇学級経営方針、QU 研修等を通した学級集団作り
4月の子どもの姿からどのような力が必要か考え学級集団づくり

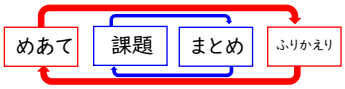
◇子どもの姿から考える授業づくり
国語が苦手な児童、国語の授業が苦手な教師が多いことから国語の授業づくり研修

◇「わからない」から始まる授業
「分からない」を出せる雰囲気

◇教師と子どもの話す割合（2:8）
教師の役割は「観る、聴く－つなぐ－もどす」

客観的に把握し認識する力
自分も周りもメタ認知

◇めあて・課題・まとめ・ふりかえりのある授業



めあてとふりかえりはどの授業でも必ず提示

◇教材でつけたい力を捉える
学習指導要領の目指す姿を自分なりに解釈し、付けたい力を明らかにして指導計画をたてる

◇課題設定
つけたい力から課題設定を考える
授業後に達成感を味わえる授業づくり
（誰一人取り残さない+D 層10%未満）

◇ふりかえり
前時からの自分の考えの変化

授業研修
年間3回の校内授業公開

	5限	6限
6/23(火)	低高	中
9/17(木)	中高	低
11/17(火)	低中	高

町教研1回

・年間3回の公開授業を行う。
・学年部で公開に向けて部会を持つ
・学年部で学習指導案を作成する。
・事後研では、教師の役割、課題設定、子どもの姿について話し合う。
・校内特支研修会前に、特支授業公開週間を設け、自身の専門性を高める。

3感を高め、すべての子どもたちがいきいきとした人生を歩めるように

東員町16年一貫教育プランの実践

❶保育者・教職員がプランを深く理解し、保育・教育を行う。❷「子育ての手引き版」に基づく発達段階に合わせた実践を行う。
❸「子育て20のポイント」等を保護者へ啓発・共有する。　❹「幼保小中一貫教育」連携を大事に保育・教育を行う

指導理念

子どもたちの基本的信頼感を裏切ったり、自己有能感を否定したりするようなことは、絶対にしない。愛情をいっぱいかけながら発達をサポートする指導姿勢。